

京都府の地震活動

令和2年（2020年）4月

第 33 卷 第 4 号

京都地方気象台

目 次

震央分布図、概況	・・・ 1
震央分布図、断面図	・・・ 2
京都府で震度1以上の揺れを観測した地震の震度一覧表	・・・ 3
京都府で震度1以上の揺れを観測した地震の震度分布図	・・・ 4
【地震一口メモ】津波から身を守るために	・・・ 7

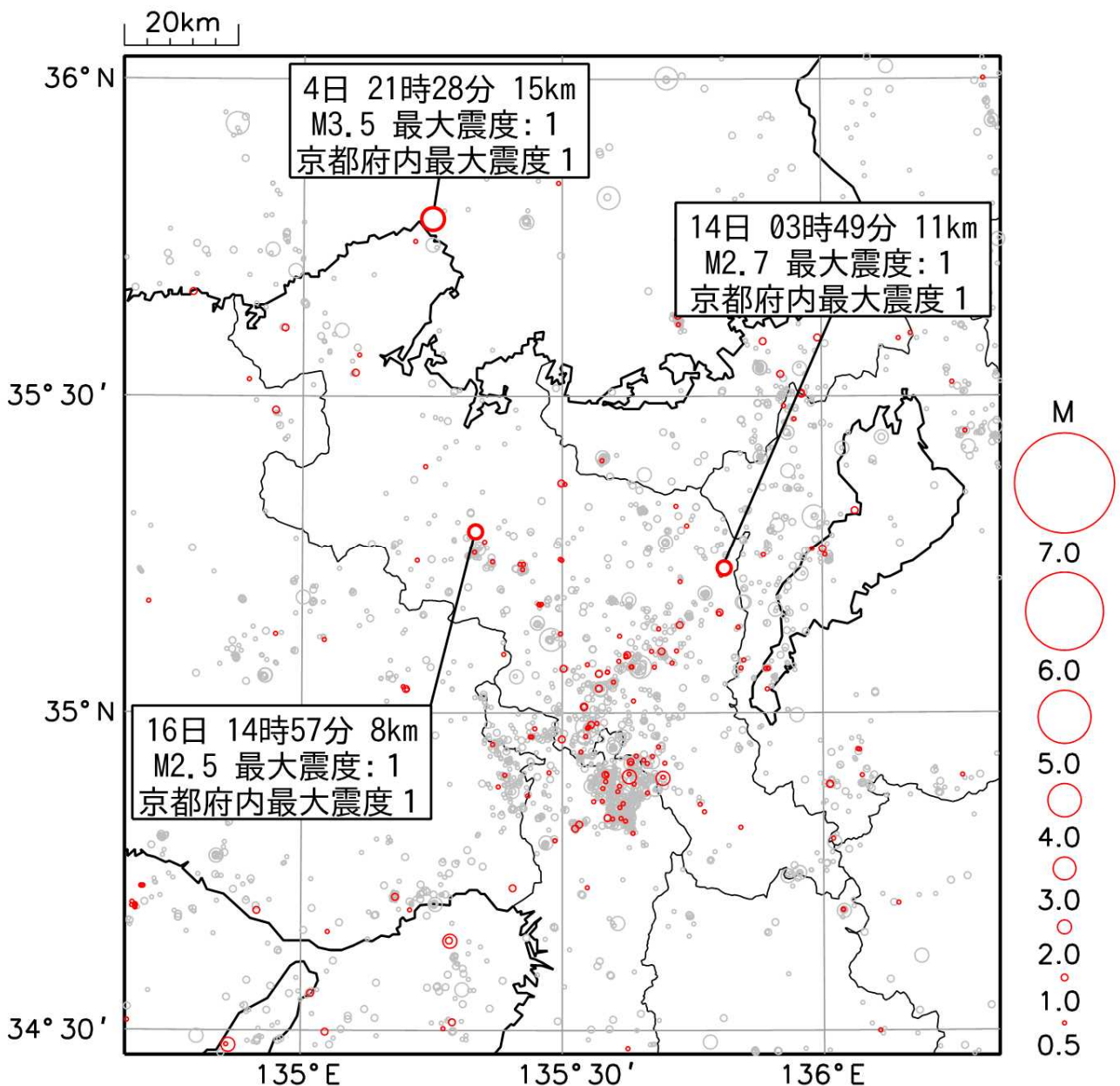
『京都府の地震活動』は、京都府及びその周辺の地震活動状況を解説するとともに、地震防災知識の普及に資するため、毎月刊行しています。

本誌に掲載した震源要素、震度データは、再調査された後、修正されることがあります。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

震度データは、気象庁の震度計の観測データに併せて地方公共団体及び国立研究開発法人防災科学技術研究所から提供されたものを掲載しています。

震央分布図（マグニチュード0.5以上、深さ0～80km）



- ・ (2019年5月1日～2020年4月30日、深さ0～80km、 $M \geq 0.5$)
- ・ 2020年4月の地震を赤く表示（総数206）
- ・ 震源を表す「○」の記号は、マグニチュード（M）の大きさに対応したサイズで表記。
- ・ 震度1以上を観測した地震には、日時、深さ、マグニチュード（M）及び京都府内で震度を観測した地震については京都府内最大震度を付記。

概況

4月中、震央分布図内で観測したマグニチュード2.0以上の地震は7回、震度1以上の揺れを観測した地震は3回発生しました（3月はそれぞれ7回、4回）。

京都府内で震度1以上の揺れを観測した地震は4回ありました（3月は3回）。

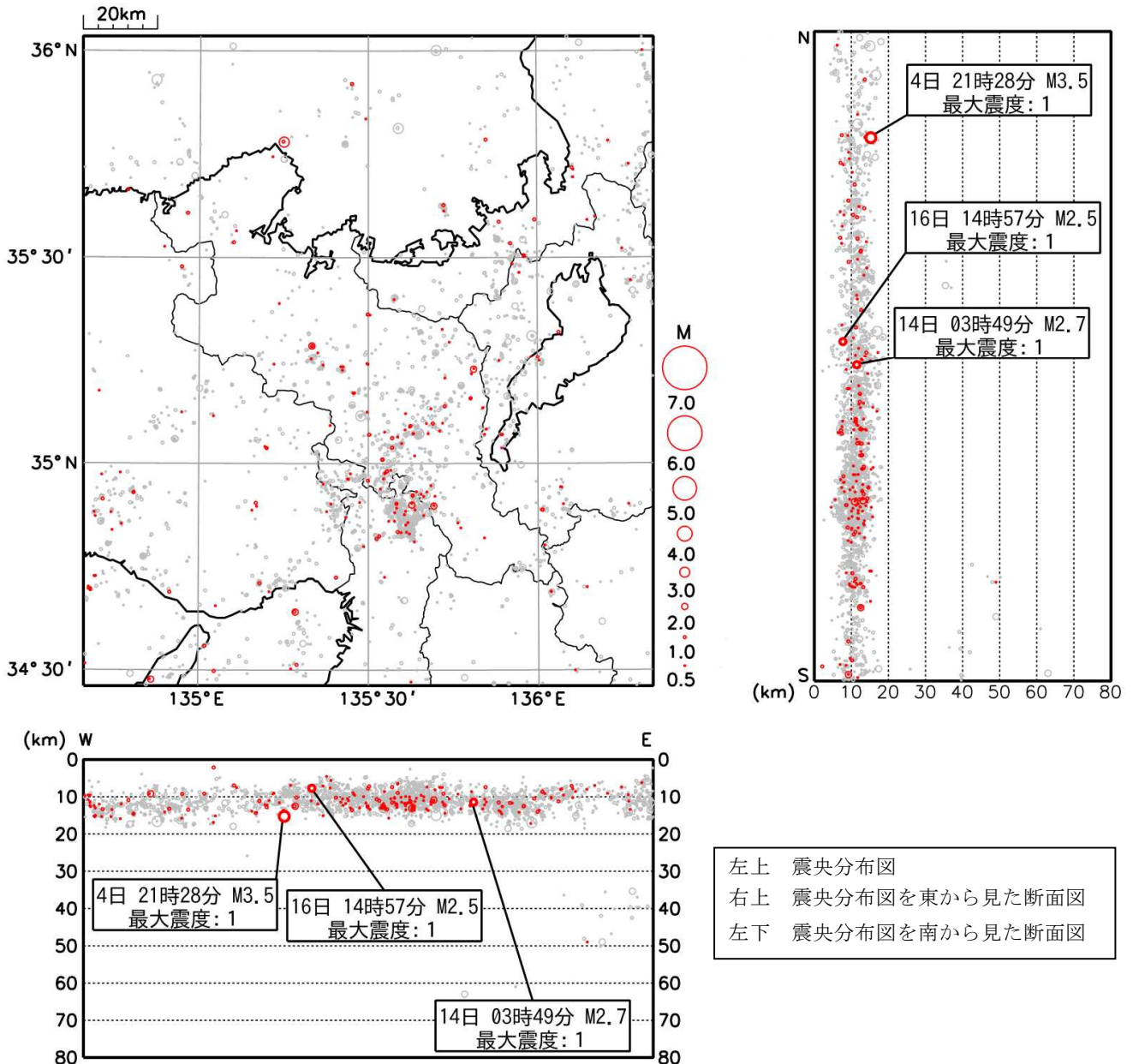
4日21時28分 京都府北部の地震（M3.5、深さ15km）により、京都府宮津市・京丹後市・伊根町、福井県高浜町で震度1を観測しました。

14日03時49分 京都府南部の地震（M2.7、深さ11km）により、京都府京都市左京区で震度1を観測しました。

16日14時57分 京都府北部の地震（M2.5、深さ8km）により、京都府京丹波町で震度1を観測しました。

18日17時25分 小笠原諸島西方沖の地震（図の領域外：M6.8、深さ477km）により、京都府亀岡市で震度1を観測したほか、東北から九州地方にかけて震度4～1を観測しました。

震央分布図、断面図（マグニチュード0.5以上、深さ0～80km）



左上 震央分布図
 右上 震央分布図を東から見た断面図
 左下 震央分布図を南から見た断面図

- ・（2019年5月1日～2020年4月30日、深さ0～80km、 $M \geq 0.5$ ）
- ・2020年4月の地震を赤く表示（総数206）
- ・震源を表す「○」の記号は、マグニチュード（M）の大きさに対応したサイズで表記。
- ・震度1以上を観測した地震には、日時、深さ、マグニチュード（M）を付記。

深さ数km～約20kmに分布している地震は陸側のプレート内で発生した地震（地殻内地震）、深さ約30km～約60kmに分布している地震は、沈み込むフィリピン海プレート内の地震です。

京都府で震度1以上の揺れを観測した地震の震度一覧表（2020年4月）

番号	観測日時		震央地名	北緯	東経	深さ	規模
	月日	時分		(度分)	(度分)	(km)	(M)
①	4月4日	21:28	京都府北部	35° 46.7'	135° 14.9'	15	3.5
②	4月14日	03:49	京都府南部	35° 13.6'	135° 48.6'	11	2.7
③	4月16日	14:57	京都府北部	35° 17.1'	135° 19.9'	8	2.5
④	4月18日	17:25	小笠原諸島西方沖	27° 10.4'	140° 30.4'	477	6.8

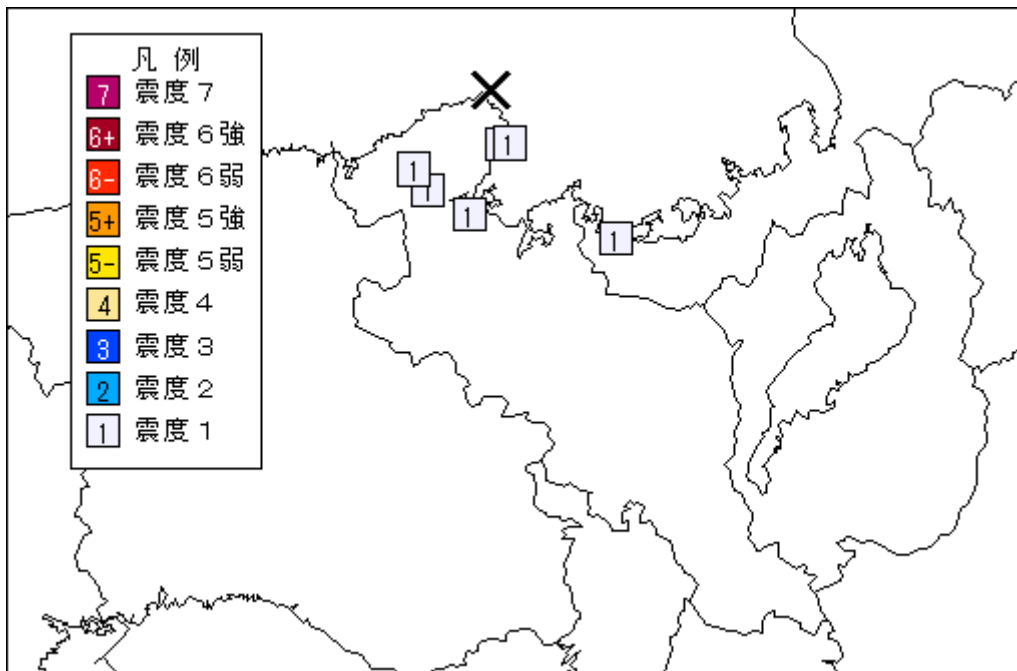
地域	震度観測点	所属	各地の震度			
			①	②	③	④
北 部	福知山市内記	気	-	-	-	-
	福知山市長田野町	防	-	-	-	-
	福知山市三和町千束	自	-	-	-	-
	福知山市夜久野町額田	自	-	-	-	-
	福知山市大江町河守	自	-	-	-	-
	舞鶴市下福井	気	-	-	-	-
	舞鶴市浜	防	-	-	-	-
	舞鶴市北吸	自	-	-	-	-
	綾部市若竹町	自	-	-	-	-
	宮津市柳縄手	自	1	-	-	-
	伊根町亀島	防	1	-	-	-
	伊根町日出	自	1	-	-	-
	京丹後市弥栄町吉沢	気	-	-	-	-
	京丹後市久美浜町広瀬	防	-	-	-	-
	京丹後市峰山町	自	1	-	-	-
	京丹後市大宮町	自	1	-	-	-
	京丹後市網野町	自	-	-	-	-
	京丹後市丹後町	自	-	-	-	-
	京丹後市弥栄町溝谷	自	-	-	-	-
	京丹後市久美浜市民局	自	-	-	-	-
南 部	与謝野町加悦	自	-	-	-	-
	与謝野町岩滝	自	-	-	-	-
	与謝野町四辻	自	-	-	-	-
	京都北区紫竹	自	-	-	-	-
	京都北区中川	自	-	-	-	-
	京都上京区藪ノ内町	自	-	-	-	-
	京都上京区今出川御前	自	-	-	-	-
	京都左京区広河原能見町	防	-	1	-	-
	京都左京区田中	自	-	-	-	-
	京都左京区鞍馬	自	-	-	-	-
	京都左京区花脊	自	-	1	-	-
	京都左京区岩倉	自	-	-	-	-
	京都左京区大原	自	-	-	-	-
	京都中京区西ノ京	気	-	-	-	-
	京都中京区河原町御池	自	-	-	-	-
	京都東山区清水	自	-	-	-	-
	京都下京区河原町塩小路	自	-	-	-	-
	京都南区西九条	自	-	-	-	-
	京都右京区京北周山町	自	-	-	-	-
	京都右京区太秦	自	-	-	-	-

地域	震度観測点	所属	各地の震度			
			①	②	③	④
南 部	京都右京区嵯峨	自	-	-	-	-
	京都右京区嵯峨嵯原	自	-	-	-	-
	京都伏見区竹田	自	-	-	-	-
	京都伏見区醍醐	自	-	-	-	-
	京都伏見区向島	自	-	-	-	-
	京都伏見区淀	自	-	-	-	-
	京都伏見区久我	自	-	-	-	-
	京都山科区安朱川向町	防	-	-	-	-
	京都山科区西野	自	-	-	-	-
	京都西京区榎原	自	-	-	-	-
	京都西京区大枝	自	-	-	-	-
	宇治市宇治琵琶	気	-	-	-	-
	宇治市折居台	防	-	-	-	-
	亀岡市安町	気	-	-	-	1
	亀岡市余部町	防	-	-	-	-
	城陽市寺田	自	-	-	-	-
	向日市寺戸町	自	-	-	-	-
	長岡京市開田	自	-	-	-	-
	八幡市八幡	自	-	-	-	-
	大山崎町円明寺	自	-	-	-	-
	久御山町田井	自	-	-	-	-
	京田辺市田辺	自	-	-	-	-
	井手町井手	自	-	-	-	-
	宇治田原町荒木	自	-	-	-	-
	笠置町笠置	自	-	-	-	-
	和束町釜塚	自	-	-	-	-
	精華町南福八妻	自	-	-	-	-
	南山城村北大河原	自	-	-	-	-
	京丹波町坂原	気	-	-	-	-
	京丹波町蒲生	自	-	-	-	-
	京丹波町橋爪	自	-	-	-	-
	京丹波町本庄	自	-	-	1	-
南丹市美山町島	自	-	-	-	-	
南丹市園部町小桜町	自	-	-	-	-	
南丹市八木町八木	自	-	-	-	-	
南丹市日吉町保野田	自	-	-	-	-	
木津川市山城町上狛	自	-	-	-	-	
木津川市加茂町里	自	-	-	-	-	
木津川市木津	自	-	-	-	-	

注1：所属のうち、「気」は「気象庁」、「防」は「防災科学技術研究所」、「自」は「自治体」を示しています。

注2：表○数字は、4月に京都府内で震度1以上の揺れを観測した地震番号を表しています。

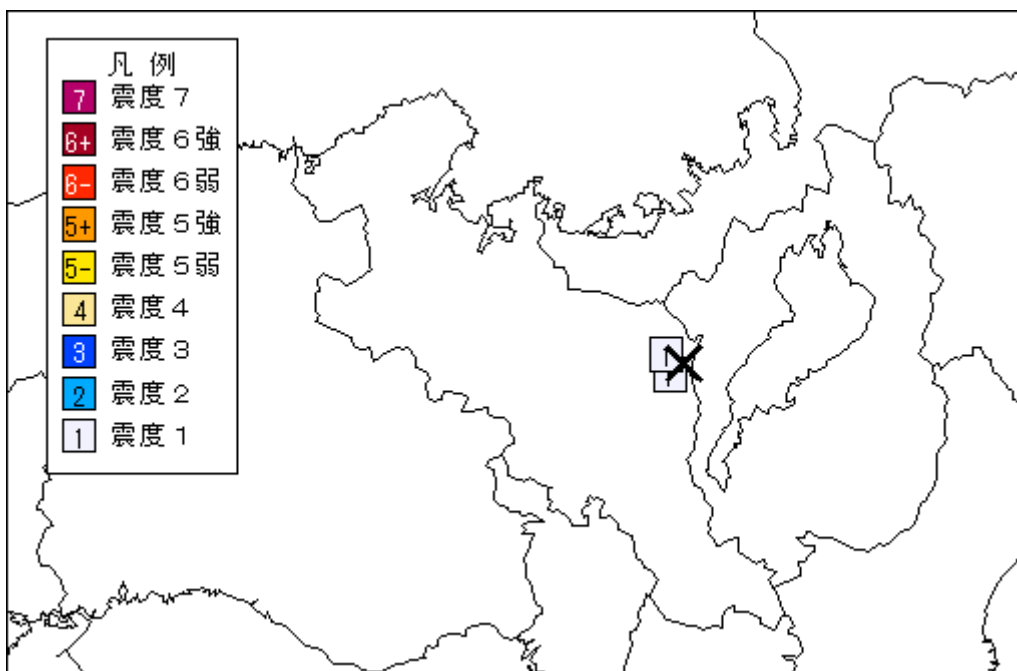
① 京都府で震度1以上の揺れを観測した地震の震度分布図（観測点別）



4月4日 21時28分 京都府北部の地震 (M3.5、深さ15km)

(図中の×印は震央位置)

② 京都府で震度1以上の揺れを観測した地震の震度分布図（観測点別）



4月14日 03時49分 京都府南部の地震 (M2.7、深さ11km)

(図中の×印は震央位置)

③ 京都府で震度1以上の揺れを観測した地震の震度分布図（観測点別）



4月16日 14時57分 京都府北部の地震（M2.5、深さ8km）

（図中の×印は震央位置）

【地震一口メモ】



津波から身を守るために

例えば、海水浴場で地震らしき揺れを感じたとします。もしその地震が海底で起きた大きな地震であれば、津波が発生するかもしれません。では、どのような場合に避難したらいいのでしょうか。

○海辺で強い揺れを感じたら…

体に感じる揺れが大きいと、地震そのものの規模も大きい可能性がありますので、津波を想定して行動しましょう。また、揺れている時間の長さから、大きい地震かどうか判断することができます。マグニチュード（地震の規模）と揺れの継続時間の関係は、マグニチュード6では数秒程度、マグニチュード7では10秒程度、マグニチュード8では1分程度、マグニチュード9では3分程度となり、規模が大きくなるにつれて揺れも長時間になります。これらから、揺れが数秒続くときは直ちに海から上がる、10秒続くときは海岸からも離れる、数十秒続くときは高台を目指す、という避難行動を最低ラインとして考えましょう。

○長くゆっくりした揺れを感じたら…

たとえ揺れの大きさは比較的小さかったとしても、長くゆっくりした揺れはどこかで大地震が発生しているサインです。一般的に、規模の大きな地震では周期の長い揺れが卓越しやすいと言われています。小刻みな揺れでなく、ゆっくりした揺れ、船に乗っているような揺れを感じた場合は、大規模地震の可能性がありますので、すぐに海辺から避難しましょう。

○津波警報等を見聞きしたら…

仮に海辺で揺れを感じなかったときでも、揺れに気が付かなかった場合や遠地地震が発生していることがあります。その地域を対象にした津波警報等を見聞きしたときは、正しい情報を入手し、避難しましょう。なお、津波警報等はテレビやラジオ、携帯電話、サイレン、鐘等、様々な手段で伝達されます。令和2年夏から海水浴場等で「津波フラッグ」(右上図)による視覚的伝達が行われるようになります。

(詳しくは、気象庁HP http://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/tsunami_bosai/tsunami_bosai_p2.html)

これらのうちのどれか一つでも当てはまる場合は、危機感を強めた方が良いでしょう。情報収集に時間をかけずに、海辺から離れ、率先して高台を目指しましょう。また、いざという時のために、普段から避難場所を確認しておくよう心がけましょう。

海辺で強い揺れを感じたら… 海辺から離れ

長くゆっくりした揺れを感じたら… より高い安全な場所へ!!

津波警報等を見聞きしたら…

解除まで気をつけて

- 津波は繰り返し襲ってきます。津波到達後も津波警報・注意報が解除されるまで気を緩めず、避難を続けてください。**津波警報が出ている間は、絶対に戻ってはいけません。**

注意報でも海中は危険

- 津波注意報が出ているところでは、海水浴や磯釣りは危険です。ただちに海から上がって、海岸から離れてください。

正しい情報を入手

- テレビやラジオ、広報車、防災行政無線などを通じて正確な情報を入手しましょう。

図 パンフレット「地震と津波」より 気象庁発行